

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	道路等新設改良事業(備前)	コード	都市整備課 土木係
		01-01-11-04	担当者 小川 勝巳
事業実施期間	H17		電話 0869-64-1835
総合計画 事業(政策)体系	大項目	安心で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目	生活しやすいまちづくり	
	小項目	道路	
	施策	市道・歩道の整備促進	

事業について	
目的	市民が生活道路として、最も多く利用している狭隘な幅員の市道を拡幅(改良)することにより、車社会に対応する市道全体のネットワーク化の強化を図る。
対象(誰のために)	市民が生活道路として、最も多く利用している狭隘な幅員の市道。
内容	各地区からの要望により、改良箇所を決定し年間数路線事業を行う。また、改良延長が長い箇所については年次的に継続事業として行う。

事業の結果	
実施項目	17年度
	回数など (単位)
改良箇所	25 箇所
舗装箇所	11 箇所
計	36 箇所
(要望数)	63 箇所

事業費 (単位:千円)	事業費	財源	事業費	財源	事業費	財源
	直接事業費 174,343	国庫補助金等 0	直接事業費	国庫補助金等	直接事業費	国庫補助金等
	人件費 16,160	受益者負担 0	人件費	受益者負担	人件費	受益者負担
	合計 190,503	市債 104,361	合計 0	市債	合計 0	市債

必要人員	2.40	人
結果指標名	改良箇所	
結果指標量	36	
単位	箇所	
対前年比	—	0.00%
事業費	190,503,000	円
単位当たりコスト①	5,291,750	円

結果指標名	改良箇所	
結果指標量	36	
単位	箇所	
対前年比	—	0.00%
事業費		円
単位当たりコスト②		円

事業の成果			
成果指標名	達成率	式又は説明	17年度実施箇所数(改良・舗装) 16年度要望箇所数(改良・舗装)
	17年度		
成果指標量	57%		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	100%	到達目標年度	毎年

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等:
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である 市民ニーズの妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

総合評価	
コメント	予算(事業費)縮小傾向の中、投資効果を十分検討の上、箇所(優先順位)決定をし事業を進めていく必要がある。 評価区分 <A~E> C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度結果指標量①	達成率	結果指標量②
目標値	成果指標量	100%

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	投資効果の有効箇所の検討	H15~	投資効果の向上

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。